

図書館だより

平成22年6月



島根県立図書館報 第189号

主な内容

- 巻頭言 …………… 1
- 「この本いいよ!」大募集 …………… 2
- 浜田市立図書館・コンピュータ化 …… 2
- 館内展示コーナー …………… 3
- レファレンス事例紹介 …………… 3
- おしらせ・利用案内 …………… 4

※行事予定は、カウンターでお渡しします。

図書館を楽しむ子どもたち

島根県立図書館
館長 米井 順子

季節がひと月ほど後戻りしたような、少し肌寒い5月のある日、図書館1階の子ども室に0歳から3歳位までのお子様をお連れのお母様、おばあ様が10数人も集まっていたらっしゃいました。「親子で絵本を読む会」の日です。始まるまでのわずかな時間にも、「これ読んで」と探し出した絵本を手にお母様に寄り添う小さな女の子。「どの本を読もうか」とお孫さんに声を掛けておられるおばあ様。ほほえましい光景に、思わず顔がほころびました。また、待っている間に仲良くなって、一緒に遊び始めたおともだちもいました。今日は、「おはなしのへや」がいっぱいです。「ぐーちょきーぱー♪、ぐーちょきーぱー♪」の手遊びで始まり始まり。歌いながら手を動かしているうちに、子どもたちのスイッチが入ってきました。さあ、いよいよ絵本の登場です。今日は何のお話かな？子どもたちの期待は高まり、視線が読み手の手元に集まります。「とんとんとんこんにちは」

絵本の表紙が開いた途端に、子どもたちはお話の世界の住人です。読み手と一緒に「とんとんとんこんにちは」と言いながら、小さな手を握って、ドアをノックしています。誰が出てくるのかな？わくわくしながら、ドアが開くのを待っています。

子どもが集中できる時間は決して長くはありません。ほんの少しの時間でいいのです。子どもと一緒に絵本の世界で遊びませんか。

図書館では、読み聞かせの楽しさを味わっていたくとともに、家庭での読み聞かせを薦めるために「親子で絵本を読む会」を毎月2回、「お父さんと一

緒に絵本を読む会」を毎月1回開いています。絵本の楽しさだけでなく、子どもとのふれあいの喜びも味わっていただけるものと思います。皆さまどうぞお出かけください。

また、毎月1回ボランティアの皆さまの御協力により「お話の会」も開いています。ろうそくの灯りがともるとストーリーテリング（語り）の始まりです。ストーリーテラーの方の語りに、いつの間にかお話の世界に引き込まれていました。終わった後の何ともいえない満足感。子どもに読んだ覚えのあるお話も、ゆったりとした気持ちで聞くと、とても新鮮で味わい深いものです。子どもだけでなく、大人も楽しめます。次回が楽しみです。

さて、今年は、国民読書年。読書が生活習慣になるように、キャッチフレーズは、「じゃあ、読もう。」です。あなたは、どんな本から始めますか？図書館には、50万冊を超える本と皆様の読書のお手伝いをする専門の司書職員がおります。是非御活用ください。皆さまの御来館をお待ちしております。



「親子で絵本を読む会」

蔵書点検ってなに？

島根県立図書館では、会社で言う棚卸しにあたる蔵書点検を、年に一度実施しています。図書館資産（図書等）の把握と、利用者へ正確な資料・情報を提供するために、所蔵の有無と場所の相違の確認を行います。

かつては、曝書と言ひ、書物を虫干しにして、資料保存対策も目的のひとつでした。

蔵書点検に伴う休館は、利用者の皆様にご迷惑をおかけいたしますが、図書館を快適にご利用いただくために必要な大切なことですので、ご理解の程よろしく願いたします。

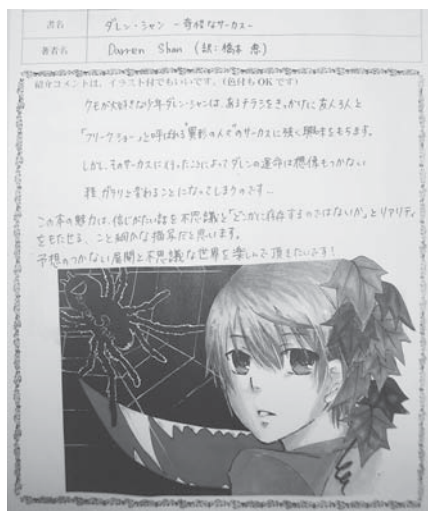
6月22日（火）から7月1日（木）まで図書整理・点検のため休館いたします。



「この本いいよ！」大募集!!

～島根の高校・高専生おすすめの一冊～

高校生、高専生のみなさん、あなたのお気に入りの本を紹介してみませんか。コメントでもイラストでも構いません。投稿された作品の一部は、読書週間（10月27日～11月9日）中に、本と一緒に県立図書館で展示します。



応募用紙は各学校、公共図書館に配布します。また、県立図書館ホームページからもダウンロードできます。応募については原則学校を通じてお送りください。

応募しめきり 9月17日（金）

問い合わせ先 島根県読書推進運動協議会事務局
（島根県立図書館内）

TEL：0852-22-5729

FAX：0852-22-5728

浜田市立図書館

コンピュータで蔵書検索や貸出処理！ 利用がより便利になりました。

5月8日から、市内5つの図書館、図書室（浜田、金城、旭、弥栄、三隅）の蔵書10万5千冊をデータベース化したシステムが稼働し、本の貸し出し、予約、検索などがスムーズにできるようになりました。浜田図書館に設置されたOPAC（利用者用蔵書検索パソコン）では、タイトルや著者名などから蔵書の有無や貸し出しの状況を調べることができます。6月からはホームページを利用し、自宅のパソコンや携帯電話から検索ができるようになりました。



平成22年度子ども読書活動優秀実践図書館・団体として、島根県から次の2団体が、文部科学大臣表彰されました。おめでとうございます。

出雲市立平田図書館（出雲市） なかよしおはなし会（斐川町）

館内資料 展示コーナー

お勧め
したい本

県立図書館では毎月テーマを決めて資料の展示を行っています。3月から5月に展示した資料の中から、皆さまに是非読んで頂きたい本を紹介します。
※展示リストはホームページからもご覧になれます。
※URL: <http://www.lib-shimane.jp>

3月テーマ 先人の生き方から学ぶ

『エルネスト・チェ・ゲバラ伝 上・下』 パコ・イグナシオ・タイボⅡ/著 海風書房 2001年刊
キューバ革命をはじめとし南米でゲリラ指導をした革命家チェ・ゲバラの伝記です。葉巻を加えたイメージの強い革命家ですが、幼少年期を通じてゲバラがどのようにして革命家となった記録が述べられています。

『牧野富太郎』 牧野富太郎/著 日本図書センター 1997年刊

高知県出身で、「日本植物学の父」と呼ばれた牧野富太郎の記録です。小学校を中退してから植物学の研究に打ち込み、理学博士にまでなった著者の自叙伝です。著者自らの言葉で語られた数々の記録が掲載されています。

4月テーマ 坂本龍馬と岩崎弥太郎

『これなら読める龍馬からの手紙』

坂本龍馬は33年の短い生涯の間に多くの手紙を書き残しました。本書では主に女性に書き送った10通の手紙を取り上げ、分かりやすい現代語訳で紹介しています。幕末の英雄、坂本龍馬を身近に感じることのできる一冊です。

『龍馬の夢を叶えた男岩崎弥太郎』

海の向こうへと目を向け、世界を相手に貿易をする国家像を描いていた坂本龍馬の果たせぬ夢は、日本初の総合商社「三菱財閥」の礎を築いた岩崎弥太郎へと引き継がれたと言われています。岩崎弥太郎の生き様に触れることのできる一冊です。

5月テーマ 鉄道のある風景 — 映画「RAILWAYS」にちなんで

『一畑電車がゆく』

根宜康広(著)、今井書店、1999年

一畑電車の運転士による一冊。運転士ならではの裏話や、一畑電車の歴史を紹介する。写真も著者が撮影したもので、四季折々の風景と電車の姿が映し出されている。巻末には「撮影ガイド」として撮影方法や撮影ポイントも紹介。

『(図説) 鉄道のプロフェッショナル』(歴史群像シリーズ)

学研 2008年刊

副題に『「鉄道の匠」たちの知られざる技・仕事・道具」とあるように、鉄道にかんする様々な仕事をその歴史とともに紹介する。鉄道の車両や部品をつくる、駅や車内でサービスをする、安全を守るために点検や調整をする。鉄道がたくさんの「プロフェッショナル」たちに支えられていることがわかる一冊。

レファレンス事例紹介

Q 江戸時代の島根県内各藩の参勤交代の行程を知りたい。

A 山陰側の各藩の参勤交代は、まず山陽側に出てそこから江戸へ向かっていました。

松江藩が25日前後、浜田藩が30日前後で江戸に到着しています。松江藩の場合は、安来から溝口、新庄、勝間田、加古川を通り伏見まで行き、中山道を通る場合と東海道を通る場合があります。また浜田藩の場合は市木、可部、海田市から西条、三原、尾道と山陽側を通り、東海道を通じて江戸に行っています。津和野藩の場合は広島の日田市まで出てそこから船で大坂へ行き、伏見から東海道を通って江戸へ向かっていました。

●参考文献

『藩史大事典』第6巻 雄山閣 1990年
『島根地方史研究』No.20 島根郷土研究会 1964年
『郷土石見』21号 石見郷土研究懇話会 1988年

こんな問い合わせがありました

Q 中海・宍道湖の古代の様子ที่わかる資料がないか。

A 中海と宍道湖の地形の変遷図が「湖底をさぐる」や「中海・宍道湖の地史と環境変化」などに載っています。これらの資料には音波調査やボーリング調査による地層や地質の調査、堆積物に含まれる花粉や貝などの動植物などの調査から、地理の変遷や植生や水環境の変化について解説がされています。風土記の時代については「風土記の考古学3」にも自然環境についての解説があります。

●参考資料

『湖底をさぐる』徳岡隆夫ほか/著 たたら書房 1986年
『中海・宍道湖の地史と環境変化』徳岡隆夫ほか/著
(「地質学論集 第36号」日本地質学会 1990年)
『風土記の考古学3』山本清/編 同成社 1995年

「島根県立図書館・探検ツアー」

期日 平成22年7月27日(火)
7月31日(土)

時間 11時～12時

場所 こどもしつ集合 館内 書庫

内容 クイズに答えながら県立図書館を探検します。
終点のおはなしのへやでは紙芝居や大型絵本の
読み聞かせがあります。

対象 幼児、小学生(定員1回30名)

参加自由・無料

(団体での参加は事前にご相談ください。)

たなばたかい

期日 8月4日(水)

時間 午後2時～3時30分

場所 島根県立図書館集会室

内容 (1) みんなで歌おう たなばたのうた
(2) 大型絵本『ありとすいか』
(3) 人形劇『かちかち山』
奥出雲町の「おはなしトロッコ」のみなさん
が上演していただきます。
(4) 工作「そよ風くるくる クルクルプラブラ」
「ももとかきのたね」の2人に教えてもらっ
て、くるくる回るおもちゃを作ります。

対象 幼児、小学校低学年 参加自由・無料 (団体での参加は事前にご相談ください。)



開館日カレンダー

平成22年

6月 展示：雇用問題を考える

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

7月 展示：山陰の民芸 - 河井寛次郎生誕120年

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

8月 展示：おすすめしたいこどものほん2010

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

※6月22日～7月1日まで蔵書点検のため休館します

■黒字…9:00～19:00 ■青字…9:00～17:00 ■赤字…休館日

読書普及指導員を派遣します

保護者参観や職員・ボランティアの方の研修会等で、親子読書
や読み聞かせの基本的な考え方やポイントなどお話しします。
お問い合わせ 子ども担当(0852-22-5746) または
西部読書普及センター(0855-23-6785)まで。

お近くの市町村図書館を通して貸出します

すべての県民の皆さんに県立図書館の資料を利用してもらうた
め、市町村の図書館などを通して資料の貸出を行っています。
①県立図書館に求める資料があるかどうかは、インターネットの
蔵書検索(県立図書館HP)や、電話での問合せ(0852-22-5748)
またはお近くの市町村図書館までおたずねください。
②借りたい資料が決まりましたら、お近くの市町村図書館(図
書館未設置の5町村は中央公民館等)へお申込みください。
週1回市町村図書館等へ発送します。

郷土資料収集のお願い

島根に関する資料(古いものも、新しいものも)を収集・保存
しています。ご寄贈、情報のご提供をお願いします。

利用案内

- 開館日時間 火曜日～金曜日 3月～10月 9時～19時
11月～2月 9時～18時
土曜日・日曜日・祝日 通 年 9時～17時
- 休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは開館)・第1木曜日
年末年始 12月28日～1月4日・特別整理休館

※詳しくは開館日カレンダーをご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.lib-shimane.jp>

編集発行 島根県立図書館 〒690-0873 松江市内中原町52

TEL 0852-22-5733 FAX 0852-22-5728

発行日 平成22年6月10日